

コンサルタントの現場から

第82回

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

一箇所に集める

各社の支援をさせていただく時に、問題を認識するために「一箇所に集める」ということをする。また、問題の解決方法として「一箇所に集める」ということを視点として示すことも多い。この「一箇所に集める」ということにはどのような意味があるだろうか。

多くの場合は、明らかに使用していない設備や治工具、滞留していると思われる在庫、また、使っていないのでもないかというファイルや事務用品、棚や机をはじめとした不要なものが多いことで、問題を見えなくしている場合だ。

問題は認識するために、まず、問題を認識するために「一箇所に集める」例を紹介した

に、少しでも現金化できるものは現金化が必要がある。いづつまでに、誰が現金化するのか明確にするのが、対象とするものが一箇所にまとめられていくことで、その進捗が一目でわかることになる。これが色々な場所にあるに在していたのでは、どれだけ進んだのかも、わからなくなってしまう。やはり一箇所に集めて責任者を決めて推進することが大切ということだ。

「一箇所に集める」という例を紹介したい。一つには、物の管理だ。各部署がそれぞれ物を管理しようとすると多大の在庫を持つことになる。文房具一つも、各職場がそれぞれ予備の在庫を持ったらどうなるだろうか。一箇所に集めることでミニマムの在庫で運用できることになる。

在庫のミニマム化

整理の取り組みでは、これに続いて、不要なものを処分するのだが、廃棄の前

推進状況の見える化

問題の見える化・情報の共有

また、生産の現場も一箇所に集めるということは多大の効

果がある。実際、気付きにくい裏部屋のようなどころで作業をさせていたのでは、そこで事故があつて人が死んでいても誰も気付けないことになる。人が死ぬようなことはあってはならないことなので、これは極論なのだが、要は、生産現場の基本は、誰もが気付ける現場にすることが基本である。どこでトラブルが発生しているかわからないような生産現場では、現場の管理はできない。できる限り、一箇所に集めて仕事できるようにライン編成することで、すぐに問題に気付け、すぐにアクションをとれる現場にすることが基本だ。

間接の事務所も同様だ。一箇所に集めると、隣の職場がどんな仕事をしているか自ずと情報が入りお互いの仕事も理解できることになる。問題が発生した際には、すぐに関係部門にも相談でき、協力できる体制が築ける。実際、誰かが大きな声で怒鳴っていたら、皆が問題が起きたことがわかり、いちいち連絡の必要もない。情報の共有化が図れる体制が自

動的にできるということだ。また、電話一つも隣の職場の人がとってあげることでもできる。

事務用品だけでなく、コピー機一つもそれぞれの職場で持つ必要もなくなり、職場が離れていることによる資産のムダも無くすることができ

間接部門も一箇所に集めることで、思っている以上の大きな効果があるということだ。

一箇所に集めることは、資産をミニマムで運用する基本になると共に、問題を見える化、共有する方法ということだ。経営改革推進する時に、まずは「一箇所に集める」ということを指示するの

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉 (たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営 常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMC(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

また、生産の現場も一箇所に集めるということは多大の効

バンコク週報
Bangkok Shuho

TEL: 02-632-9179
info@bangkokshuho.com

広告のご用命は

タイでの工場建設・増築

お任せください!

タイでの工場建築・増築・設備に経験豊富な日本人が全力でサポート!

提案力かつローコストが強み! 工場内設備・電気設備も一括対応

設計・施工・メンテナンスも一貫して自社社員でフォロー!

お問合せはこちら Tel: 081-991-5078 (杉浦)
E-mail: sugiura.tcc@tcctecnica.co.th

TCC TECNICA CO.,LTD.
(本社パトナーニ・支拠点シーラチャ 日本人社員6名)
122 Moo.20 T.Klongnueng, A.Klongluang,Pathumthani 12120

www.tcctecnica.co.th

人と環境創造

空気と水の

SANKEN-EMC

三建設備工業株式会社とタイ王国の実績豊富な上場ゼネコン EMC PUBLIC COMPANY LIMITED社の共同出資会社として建築工事・空調設備・衛生設備・電気設備・クリーンルーム設備などのプランニング設計・施工・保守・リニューアルなどの一体的なサービス

「JAPANスタンダード&ローカルコスト」にてご提案します。

SANKEN-EMC Company Limited
ITF Tower 140/66, 28Floor Silom Road, Suriyawong Bangrak,Bangkok 10500
TEL : 0 2615 6100 FAX : 0 2615 6128-30
E-mail: info@sanken-emc.co.th

www.sanken-emc.co.th